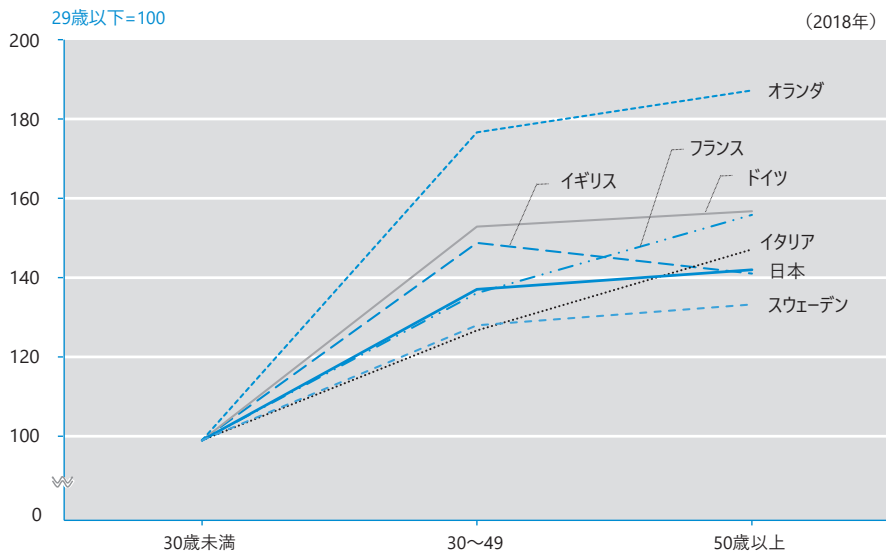


5-3 年齢階級別賃金格差



[関連表](#) p.189 「第 5-11-1 表 年齢階級別賃金格差（労働者の種類計）」

上のグラフは、30 歳未満の賃金を 100 としたときの各国の年齢階級別賃金指数により、年齢階級間の格差の状況を示したものである。

日本では 30 歳未満との賃金の格差は、30～49 歳層で 1.38 倍、50 歳以上層になると 1.43 倍へと拡大する。同様に欧州でも、多くの国では年齢階層が上がるにつれて賃金が増加しているが、イギリスについては 30～49 歳層をピークに賃金が下がっている。

また職種別にみると、年齢階層間の賃金格差は「生産労働者」よりも「管理・事務・技術労働者」で大きい傾向にある。「生産労働者」では、30 歳未満層と 30～49 歳層、50 歳以上層の賃金格差は各国とも概ね 1.1～1.3 倍程度で、30 歳以降ではほぼ横ばいとなるが、「管理・事務・技術労働者」では、30～49 歳層でおよそ 1.3～1.5 倍、50 歳以上層では 1.6～1.7 倍となる国が多く、年齢上昇とともに賃金格差も拡大するためである（p.190「第 5-11-2 表 年齢階級別賃金格差（生産労働者）」、p.191「第 5-11-3 表年齢階級別賃金格差（管理・事務・技術労働者）」）。